

## その他

# [MicroSIP]シングルモードの仲介転送(アテンド転送)のご利用方法

■仲介転送(アテンド転送)とは  
転送するオペレーターと、転送先の番号にて通話を行った後、転送する機能です

[※仲介転送と無応答転送の違いについて詳しく知りたい方は、こちらをご覧ください](#)

本ページではシングルモードの仲介転送(アテンド転送)についての設定手順をご案内いたします  
(※マルチモードの仲介転送(アテンド転送)は[こちら](#))

MicroSIPで標準使用可能な転送はブラインド転送となっております。  
シングルモードの仲介転送(アテンド転送)をご利用される場合は、以下手順をご確認ください。

### ■シングルモードの有効化

1. メイン画面右上の「▼」アイコンをクリックし「設定」を選択します



## その他

- 開きました設定画面で「シングルモード」のチェックマークを入れて、保存を押してください

設定



### ■実際の操作手順

- 通話を応答します



- ① 通話中、キーパッドにて [\*2] を入力します。

## その他



3. 「転送します」とガイダンスの後、転送したい内線番号を入力し発信します

## その他



4. 転送先相手と会話後、[切断] ボタンをクリックすることで、通話していた相手と転送先相手間での通話が始まります。

### ■仲介転送のキャンセル方法

▶内線コール中のキャンセル：[\*1]

▶内線発信前に通話に戻る：[#]

※「内線番号が無効です」とガイダンスが流れた後、通話に戻ります。  
本ガイダンスは変更ができません。

<例：受電者3012・転送先3050・通話相手A様とした場合>

1. 内線相手3050が転送電話を受電する場合  
3012が3050へ内線し、説明の上、3012が切断します。  
切断した時点で3050とA様の通話が始まります。
2. 内線相手3050に転送電話の受電を拒否された場合  
3012が3050へ内線し、説明の上、3050が転送電話を受電せず切断します。

## その他

切断した時点で3012とA様の通話が再開します。

3. 内線相手3050とつながらなかった場合

3012が3050へ内線し、3050が内線を取らず繋がらないので、

[\*1] を押し内線コールをキャンセルします。

押した時点で3012とA様の通話が再開します。

4. 内線相手3050へのダイヤル前に通話へ戻る場合

3012が内線番号をダイヤルする前に、[#] を押します。

※内線番号が無効ですとガイダンスが流れた後、A様との通話に戻ります。

一意的なソリューション ID: #1145

製作者: スタッフ<T.I>

最終更新: 2024-12-11 10:43